

## プロフィール

1997年4月4日生まれ。岡山市で育つ。岡山大学教育学部附属小中学校、岡山県立岡山朝日高校を卒業後、早稲田大学人間科学部で国内の格差問題について研究。在学中はアメリカのオレゴン大学へ1年間留学。大学卒業後はHONDAに入社、デジタル部門に勤務。現在は会派「みらいえ」で副代表を務める。趣味はマラソン、読書、カフェ巡り、国内旅行、岡山のスポーツチーム応援。空手初段、2級ファイナンシャルブランニング技能士。フルマラソン自己ベスト2時間41分。おかやまマラソン2024は82位でゴール。



岡山市議会議員  
会派みらいえ副代表

前島  
けいた  
まえじま

最年少  
27歳

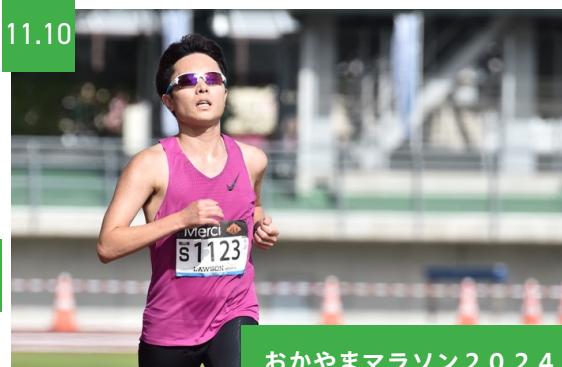
2025年、明けましておめでとうございます

11.3 韓国・富川市民友好親善訪問団



韓国・富川市民友好親善訪問団との交流

11.10



おかやまマラソン2024

11.15



大都市制度・広域行政調査  
特別委員会視察

11.17



河川敷の清掃活動  
「海ごみゼロ大作戦」参加！

おかやまマラソン2024に出走しました。サブ40（2時間40分を切る）を目指して頑張りましたが、あと一歩届かずでした。しかし、自己ベストを15秒更新することができ、昨年より順位アップの82位でゴールできました。ボランティア、応援の皆さん、本当にありがとうございました。

11.24



岡山市スポーツ少年団  
体育大会

11.28



日本維新の会議員団への  
要望活動（オンライン）

12.9



J1へ昇格したファジアーノ  
岡山の選手達を市役所で祝福

12.18



高校生未来創造会議

## 11月定例議会が終了しました

### 11月定例市議会の補正予算の主な内容

- ①建築資材の高騰等に伴う新庁舎整備事業の追加経費について（約3億8,800万円）
- ②人事委員会勧告に基づく市職員の給与改定費及び人件費等の過不足調整について（約25億7,900万円）

上記補正予算は、賛成多数で可決されました。

また、市民の方がコンビニで証明書を交付できる「証明書コンビニ交付サービス」の普及促進と区役所窓口での待ち時間短縮を目的に、各区役所の窓口に「証明書コンビニ交付サービス」と同じ操作で証明書を発行できるパソコンを置けるようにするための条例改正案も可決されました。皆様、住民票をはじめとした証明書の発行はぜひ、コンビニの機械でお済ませください！待ち時間ゼロです！

議案・陳情に対する各議員の  
賛否はこちからご覧ください



→ <https://www.city.okayama.jp/gikai/>



前島  
けいたの

# 議会質問レポート

11月定例市議会が開催されました。今回も、教育・地方分権・治安維持・スポーツ・保健医療と、幅広い5つのテーマで質問を行いました。今後とも研究・提案を続けてまいります。



## 公立夜間中学開設に向けて

2025年4月開設の岡山市立岡山後楽館中学校の夜間学級（夜間中学）についての質問です。

（入学願書の提出の一旦の締め切りは2024年11月29日でしたが、）**入学願書はこの日を過ぎても受け付けています**ということを広く広報しませんか。夜間学級案内資料を改訂し、**入学願書は日付を問わずいつでも受け付けている旨の記載を入れるのがよい**と思います。

**A** 随時入学についてはホームページ等で周知しており、また、入学説明会や個別相談の際にも丁寧に説明しています。夜間学級案内資料については次回作成時には随時募集の記載も含めて見直しを行います。

夜間中学入学希望者の中には、**これまで学びの機会を十分に得られなかつたがために**幾多の困難を抱えてきた方もいるでしょう。入学希望者が**長年の疑問や課題が解決できた**と思える、個々に合った教育課程を編成することが必要です。2024年4月から教育課程を検討されていますが、その検討状況をお示しください。

**A** 夜間中学の教育課程は**月曜から金曜まで、1単位時間40分の授業を1日4時間、週当たり20時間**とし、**年間総授業時数を700時間程度**と考えており、2025年度の教育課程については**入学予定者の状況を踏まえて検討**を進めているところです。

**A** 夜間中学への教員配置のための人事異動希望調査、研修などはどのようにされますか。

教員配置については所属長を通じて**教職員に勤務条件の周知等を行な**がら**夜間中学の特性にも配慮し、適切な配置となる**ように努めています。また、研修については教育研究研修センターが実施する研修講座で教職員に必要な力量を身につけられると考えていますが、**開校後は生徒の実態に応じた校内研修の充実等も図って**いきたいと考えています。

## 地方分権を推進するために

私は、中央省庁の持つ権限を大きく地方自治体に移譲し、現在の中央集権体制から地域のことは地域で決められる地方分権・多極型の国家に移行すべきと考えます。地方から人材、特に若い人材が都市部へ流出し、地方の衰退に歯止めがかかる現状で、自立した地域を目指す道州制の議論に期待しています。

**A** 道州制について市長のお考えをお聞かせください。

**A** 道州制は、現在の国、都道府県、基礎自治体の役割を再構築しようとするものであり、**特別市制度を推進する立場**にも繋がると思いますし、**制度疲労を起こしている今の制度（指定都市制度）を変えていくことにも繋がる**と思っております。私としてはこの議論を進めていくべきだと考えています。

**A** （岡山市を中心とした8市5町による岡山連携中枢都市圏について）**連携中枢都市圏の一番の目的は経済成長**だと思いますが、少子高齢化、人口減少が進む中で、**岡山市がこの8市5町を巻き込んで人口減少対策を打つのが良い**と思います。例えば、**8市5町の中で働く未婚の方々を一堂に集めて岡山市出会いのひろばのさらに大きなバージョンをやる**というのもありだと思います。常識にとらわれない少子化対策を8市5町でやりませんか。

**A** **人口の流出を都市圏全体として食い止めていく**ことは重要だと考えています。（県がしっかり取り組む問題ではありますが、）連携中枢都市圏を構成する我々市町村としては、**市民生活サービスに密着している**という基礎自治体としての特性を生かしながら、特に**都市機能の充実を全体として図っていく**必要があると考えております。関係市町村のご意見も聞きながら、**市民に求められている都市としての魅力**というものは何があるのか、**行政としてどのようなことに取り組んでいくのが良いか**ということをしっかり見つめながら検討を進めてまいりたいと思っております。

維新  
日々活動中！



岡山駅前で街頭演説



臨時党大会へ出席、新代表を選出しました。  
新体制の日本維新の会もよろしくお願ひいたします

## 次回 2月定例会予告

ぜひ傍聴にお越しください！  
ネット配信もしております。



ネット配信はこちらから  
<https://okayama-city.stream.jit.co.jp/>

2月17日（月）	初日（市長から議案の提案説明）
2月21日（金）・25日（火）	代表質問
2月26日（水）・27日（木）	一般質問
2月28日（金）・3月3日（月）・4日（火）	予算特別委員会 質疑
3月5日（水）・6日（木）	予算特別委員会 分科会
3月7日（金）	常任委員会
3月12日（水）	予算特別委員会 会派ごとの意見表明、表決
3月17日（月）	最終日（議案の採決）

### ハロウィーン当日の岡山駅前の混雑を緩和するために

10月31日、仮装してハロウィーンを楽しむ方々、主に若者が岡山駅前東口広場に集まっていました。暴走バイクが現れ、そこに飛び蹴りをする人も出現するなど、荒れた様子が全国ニュースになりました。2025年のハロウィーンは金曜日です。例年以上に岡山駅東口に多くの人が集まってしまうのではないかと懸念しています。

**A** ハロウィーン当日の夜、岡山市中心部にて混雑が原因で起きたと思われる怪我などを理由とした消防局の救急出動はありませんでしたか。

**A** 2024年10月31日の夜間、岡山市中心部でハロウィーンの混雑に起因した救急出動はありませんでした。

**A** 岡山市としてはJRや県警とどのように連携を取り、どのような対策を打たれていますか。

**A** 毎年、ハロウィンに向けて事前にJRや岡山県警等と当日の安全対策について会議が行われており、岡山市も出席しています。2024年は新たな対策として岡山市公式Xで通路確保のお願いの呼びかけを行い、当日はカラーコーンなどを現地に配置した上で、JRや岡山県警等と協力しながら約20名の北区職員が歩行者の安全な通行の確保に努めました。

### 男性の更年期障害について

**A** 女性の更年期障害だけでなく、男性の更年期障害についても市民、市内企業の認知度を上げ、理解を深めるべく啓発、周知をしませんか。

**A** 厚生労働省が2022年に実施した調査では、40歳代以降の方で「男性にも更年期にまつわる不調があることについて知っている」と回答した割合は、女性で約3割から5割、男性では約1割から2割となっており、特に男性において認知されていない状況です。現在、市として男性の更年期障害に特化した取組はございませんが、男女に関わらず更年期障害があることについてどういった周知啓発ができるか、研究してまいります。

### おかやまマラソンのさらなる魅力向上のために

**A** 岡山の一大イベントとなったおかやまマラソンを海外からの観光客誘致に使えないかとの思いで質問いたします。本市の国際友好交流都市（米国サンノゼ市、韓国富川市など）におもてなし給食を出してもらうのはいかがでしょうか。

**A** 国際友好交流都市からのおもてなし給食の提供につきましては、仮に申出があれば検討してまいります。



### 今議会のポイント！

「国連女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書」案が可決されました。国に対し、上記の議定書を批准するよう要望するものです。2023年2月時点で、115カ国が批准していますが、日本はまだです。この意見書により、少しでも国内のジェンダー・ギャップが解消されることを願います。一方、「正規教職員の採用増を求ることについて」「特別支援学級の学級編制基準を7人以下にすることを求ることについて」という陳情が出されており、採択を求めましたが、不採択となってしまった点は残念でした。

議会質問の映像（全編）はこちらから！ <https://x.gd/hLVVE>



QRコードからもアクセスできます



街頭にて新年のご挨拶



ポスターを掲示していただける方がいらっしゃいましたら、ご連絡をお願いいたします！

日本維新の会



[o-ishin.jp](http://o-ishin.jp)

前島けいた



[maeshimakeita.com](http://maeshimakeita.com)

党員募集中！  
ホームページより  
お問い合わせください

JAPAN

政治家

政治家

# 議会・委員会での活動の様子を報告します！

## 岡山市民の終活を支援するための条例（仮称）の作成過程と視察

私を含めた岡山市議会のプロジェクトチームでは、2025年2月議会での提案を目指して、上記の条例を練っています。2025年1月17日まで、**市民の皆様から意見を募集する「パブリックコメント」を行い、現在、作成の最終段階に入っています。**岡山県医師会や日本看取り士会、全国空き家アドバイザー協議会岡山支部など、**終活に関わる関係団体からヒアリングを行い、また、岡山市の保健福祉局、市民生活局などの関係課とも調整を重ね、ブランクアップしてきました。**



市長に条例案を提出

### 大阪府

大阪府では、日本維新の会所属議員が中心となって**「いのち輝く人生のため『人生会議』を推進する条例」**を作成し、2023年4月に施行されました。条例の制定過程における工夫点や施行後の府民や事業者に向けた啓発活動についてお話をいただき、条例の制定に向けた具体的なイメージを持つことができました。



「終活」に関する他都市の先行事例を見るべく、10月末には大阪府と東京都足立区へ視察に行きました。

### 東京都足立区

「足立区社会福祉協議会 権利擁護センター あだち」の方々から**『高齢者あんしん生活支援事業』**について伺いました。本事業は、**独居で身寄りがなく、資産が一定基準額以下の高齢者を対象に、預託金を預かることで、入院・入所の際に保証人に準じた支援を行う**、というものです。条例に盛り込む施策を考える上で大変参考になりました。



## 大都市制度・広域行政調査特別委員会視察

今回の視察で学んだことは11月議会での**一般質問「地方分権を推進するために」**の項目に活かしました。日本維新の会は地方分権の推進と地方の自立を掲げています。**地方の活性化のためにできることは何か、今後も勉強**してまいります。

### 埼玉県

さいたま市を中心とした、**東日本地域との広域連携について**視察に行きました。東日本連携とは、**新幹線6路線が通る「東日本の玄関口」大宮駅を有するといった立地優位性を生かし、市域・県域を超えた「ヒト・モノ・情報」の流れを創出する、さいたま市だからこそ可能な地方創生**、とのことです。大宮駅徒歩1分の場所にある『まるまるひがしにほん東日本連携センター』では、連携している東日本の市町村のプロモーションも行なっています。



### 神奈川県

横浜市が目指す**「特別市」構想**について聞きに行きました。現在の**「政令指定都市制度」**（※人口50万人以上の都市を政令で指定し、市民生活やまちづくりに関する権限や財源を県から政令市に移譲する制度）では、**政令市と県の二重行政が発生している**（例:河川管理、公営住宅）、という大きな問題があります。横浜市が提唱する**「特別市制度」**とは、**現在の指定都市制度を見直し、原則として国が担うべき事務を除くすべての地方の事務を特別市が一元的に担い、その仕事量の増加に応じて特別市の税財源も見直そう**、というものです。特別市制度が実現すると、**行政サービスの窓口が一本化されることで市民の利便性が向上するとともに、県を通さずに国と直接やりとりができる**ことによって**地域課題を迅速に解決**できるようになる、というメリットがあることがわかりました。

# みんなの声を力に！パワーアップ岡山市！



前島けいた  
公式ホームページ  
[maeshimakeita.com](http://maeshimakeita.com)



前島けいた  
公式X（旧Twitter）  
[@maeyan\\_running](https://twitter.com/maeyan_running)